

Seventeen



こまボン
ゆるキャラ グランプリ
2017 エントリー中



クイズ



〇〇潜水橋

〇〇に入る地名2文字をお答え下さい。

応募資格

小松島市民の方、年齢制限はありません。

※はがきに答え・住所・氏名・年齢・性別を記入。
抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。)

あて先

〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 宛
(締切日8月31日消印有効)

前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。

前回の答えは11ページ(下段)に記載しています

市内にある唯一の潜水橋です。
一般的になんと呼ばれているでしょうか。

撮影者 津川 孝善 (大林町)

5月26日 ダイヤモンド・プリンセス

赤石ふ頭に入港 阿波踊りで歓迎!

豪華客船、小松島に続々と!!

- 8月12日 飛鳥II 14:00 入港 (金磯)
- 8月13日 ダイヤモンド・プリンセス 11:00 入港 (赤石)
- 8月14日 コスタ・ビクトリア 15:30 入港 (赤石)
- 8月15日 につぼん丸 8:00 入港 (本港)

目次

議会新体制	-----	2
常任委員会報告(6月)	-----	4
一般質問(6月)	-----	6
賛否表	-----	12
政務活動費収支報告	-----	13
市議会解説(子ども向け)	-----	14
9月定例会議日程	-----	16

市民の声を行政に反映 信頼される議会を目指す!

議長に北野 恒男

副議長に前川 英貴

第2回臨時会議が5月1日に開かれ

新体制での活動がスタートしました



北野 恒男 議長

このたび、平成29年第2回臨時会議におきま

して議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。もとより微力ではありますが、市民から信頼される議会運営に努め、その使命達成に最善を尽くす決意でございます。

本市においては、平成29年度からの10年間の計画期間とする「小松島市

第6次総合計画」を策定し、本市が目標とする都市像を、未来へ輝く希望と信頼のまち「こまつしま」とし、このキャッチフレーズに沿って施策を推進しております。

本市では、この10年間で約3700人の人口が減少し、また、核家族化が加速しております。今後においては少子高齢化への対応、産業や農業の振興、ごみ処理施設、地震・津波等の自然災害の発生に備えた防災・減災対策など、課題が山積しております。

こうした中、市議会といたしましては、これらの課題について、どのように対応すれば安心して

暮らせるか、市の発展につながるか、タウンミーティング等により、市民の皆様からの様々な声に耳を傾け、その声を市政に反映させるよう取り組んでまいります。また、自己研さんを積み、議会の更なる活性化やチェック機能の充実に努め、より一層信頼される議会を目指し、努力してまいります。

市民の皆様には、今後とも議会活動に対しまして一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。就任のご挨拶といたします。



前川 英貴 副議長

このたび、議員各位のご推挙によりまして、副議長に就任させていただきました。

議員経験も浅い私ですが、副議長の要職に就かせていただきましたことは、大変光栄に存ずるとともに責任の重大さを痛感しているところであります。議長をはじめ議員各位ならびに市民の皆様のご指導、ご助言をいただきながら、議会が公正かつ円満に運営されるよう、努力してまいります。今後とも、市民の皆様からは貴重なご意見を頂くとともに、市議会に対してお協力をお願いいたします。

監査委員

廣田 和三



5月の臨時会議におきまして、議会選出の監査委員に選任されました。その重責に身の引き締まる思いであります。

本市の財政状況は、防災対策、葬斎場の建設、小松島南中学校の建設と大型事業が続いたため、今後も厳しい財政運営が予想されます。限られた財源が適切に、また効果的に執行されているかを、市民目線に立って監査業務を厳正に努めて参りたいと思っております。宜しくご指導をお願いいたします。

委員会構成

総務 常任委員会

【所管部門】
総務部、会計課、
消防に関する事項



委員長 安平 剛之
副委員長 松下 大生
委員 高木 幸次
杉本 勝
吉見 勝之
片田 真弓
前川 英貴
廣田 和
米崎 賢治
四宮 祐司

文教厚生 常任委員会

【所管部門】
市民環境部、保健
福祉部、教育委員
会に関する事項



委員長 宮崎 欽司
副委員長 四宮 祐司
委員 佐野 善作
出口憲二郎
武田 清
高木 幸次
安平 剛之
井村 保裕
池淵 彰
前川 英貴
廣田 和

産業建設 常任委員会

【所管部門】
産業建設部、水道部、
農業委員会に関する
事項



委員長 武田 清
副委員長 杉本 勝
委員 宮崎 欽司
佐野 善作
出口憲二郎
井村 保裕
池淵 彰
吉見 勝之
片田 真弓
米崎 賢治
松下 大生

予算決算 常任委員会

【所管部門】
予算・決算、その他
財政に関する事項

委員長 井村 保裕
副委員長 佐野 善作
委員 宮崎 欽司
出口憲二郎
武田 清
高木 幸次
安平 剛之
池淵 彰
杉本 勝
吉見 勝之
片田 真弓
前川 英貴
廣田 和
米崎 賢治
四宮 祐司
松下 大生

議会運営委員会

委員長 宮崎 欽司
副委員長 井村 保裕
委員 出口憲二郎

議会改革特別委員会

委員長 松下 大生
副委員長 井村 保裕
委員 出口憲二郎

議会広報特別委員会

委員長 吉見 勝之
副委員長 米崎 賢治
委員 安平 剛之

北野 恒男
杉本 勝
安平 剛之
井村 保裕
宮崎 欽司
高木 幸次
池淵 彰
吉見 勝之
前川 英貴
廣田 和
片田 真弓
杉本 勝
米崎 賢治
四宮 祐司
松下 大生

常任委員会報告

総務常任委員会

安平 剛之委員長

議案4件を可決

本委員会には議案4件が付託され、審査の結果いずれも原案のとおり可決した。また、報告4件について詳細な説明を受けた。

◎議案第45号 小松島

市消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例については、は、政令の改正を受けて、条例の改正。

◎議案第47号 財産の

取得については、本市の電算基幹システムにかか

るサーバ機器等のハードウェア一式を購入することについて議会の議決を

求めるもの。

◎報告第2号 専決処

分の報告について（小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）は、

地方税法の改正に伴う改正を、専決処分により行ったことの議会への報告。

◎議案第44号 小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例については、雇用保険法の改正に伴う改正。

◎報告第9号 専決処

分の報告について（損害賠償額の決定）は、消防団員による消火活動中に

発生した物損事故について、その損害賠償の額を専決処分により決定した

ことの議会への報告。

◎報告第10号 専決処

分の報告について（損害賠償額の決定）公用車運転中に発生した物損事故

について、その損害賠償の額を専決処分により決定したことの議会への報告。

◎報告第11号 平成29

年度小松島市土地開発公社事業計画に関する報告

については、小松島市土地開発公社の平成29年度の事業計画について地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、議

会に報告。

文教厚生常任委員会

宮崎 欽司委員長

徳島市との事務委託に関する協議を可決

本委員会には議案2件、請願1件、陳情1件が付託された。また、報告1件について詳細な説明を受けた。

◎請願第1号 広域ご

み焼却施設建設事業における議会と市民の市政参画に関する請願について委員会開会前に、請願提出者から、趣旨などについて詳細なる説明を受けた。

◎議案第48号 徳島市

との間における事務の委託に関する協議について（徳島市との間における

一般廃棄物の処理に関する事務の委託）については、規約を定め、同市との協議を行う条例）を採決の結果、挙手多数で可決。

◎議案第49号 訴えの

提起について（本市が貸し付けた住宅新築資金等貸付金に関して、徳島地方裁判所に連帯保証人を被告として保障債務の履行を求める訴えの提起）を原案のとおり可決。

（賛成討論）

高木 議案第48号について反対するとともに行政の暴走と議会軽視、市民の生命と財産及び美しい自然環境を守るべき。時間をかけ十分な議論を重ねてほしい。

◎陳情第1号 国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択については、挙手採決の結果、不採択と決した。

◎報告第3号 専決処分の報告について（小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例）は、国民健康保険税の軽減措置の改正を専決処分により行った報告。

【請願に対する討論】

（反対討論）

安平 小松島市の焼却炉は老朽化により、いつ故障するかわからない状態であり、一日も早く次の一手を考えなければいけない。ごみ焼却を止めず、継続していくためにも、時間をかけてという論理にはなりにくい。行政は粛々と手続きを踏んで進めている。

◆所管事項での質問◆

前川 昨年12月に部落差別解消推進法が施行されたが、国からの指針はどうなっているのか。

答 地方からアンケートなど資料を集め調査内容を精査しているところである。

産業建設常任委員会

武田 清 委員長

四国横断自動車道側道を 市道認定

本委員会には、議案2件が付託され、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決となった。また、所管事項においては、活発な議論が行われた。

◆所管事項での質問◆

出 市道認定する場合の条件は。

答 道路の幅員4.5メートル以上で側溝があり通り抜けが可能であること、民地の場合は市に寄付して頂くことが条件となる。

出 市道認定を厳格にしなければならないのにもかかわらず、住宅事情等も変わってきている。それぞれの事情を十分吟味し、認定を考慮してもらえないか。

市長 ある程度の基準を設けて市道認定させていただきたい。

出 現在の市営グラウンドを硬式野球場として整備すると決めた経緯は。

答 地域防災計画の中で大型ヘリコプターが降着できる場所として100メートル画を確保すること、費用対効果などを踏まえるなど総合的に検討した結果、硬式規格となった。

佐野 雨水ポンプ場、各ポンプ場の定期点検はどのように行っているのか。

答 月1回の定期点検を、施設受託の管理者が行っており、異常等があれば市に報告のうえ、専門業者立ち合いのもと点検を行う。

佐野 定期点検は専門の業者が行う方がよいのではないか。

答 経費面等も考え、検討したい。

米崎 ガールズ競輪が全国的にもかなり展開されているが、小松島市では行わないのか。



踏切第1町一番線磯輪ノ月線幹線

予算決算常任委員会

井村 保裕 委員長

平成30年度に金磯町の 踏切拡幅工事成

本委員会には議案1件が付託され、慎重審査の結果、原案のとおり可決された。また、報告5件について詳細な説明を受けた。

年度にかけて実施予定の

「幹線月ノ輪金磯線一番町第1踏切拡幅工事」に係る四国旅客鉄道株式会社に対する委託料について、平成30年度の債務負担行為を設定するもの。

議案第42号 平成29年度小松島市一般会計補正予算（第1号）について、本年度から平成30

報告第4号 専決処分

分の報告について（平成28年度小松島市一般会計補正予算（第5号）は、3月定例会議以後において地方交付税による歳入が確定したことにより、追加補正額である2億円を財源とし、財政調整基金への積立金とする補正措置及び現年度分の執行額の確定に伴う、繰越明許費の補正を専決処分した。

報告第5号 専決処分

特別会計補正予算（第3号）は、歳出において、記念競輪の開催事業費を5千万円減額し、その同額を競輪施設整備等基金積立金へ増額する補正を専決処分した。

報告第6号 平成28年度小松島市一般会計繰越明許費の繰越報告について、翌年度繰越額が確定した。

報告第7号 平成28年度小松島市介護保険特別会計繰越明許費の繰越報告については、翌年度繰越額が確定した。

報告第8号 平成28年度小松島市公共下水道事業特別会計繰越明許費の繰越報告について、翌年度繰越額が確定した。

◆所管事項での質問◆

池淵 競輪事業あり方検討会議から事業継続の答申を受け、市としての今後の方向性等はいつ示されるのか。

答 12月をめどに示したいと考えている。

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名
佐野 善作	地震・津波対策について
	雨水ポンプ場の管理・運営について
	政所谷川改修について
米崎 賢治	普通交付税（生活保護費）の錯誤について
	人口減少対策について
	ふるさと納税について
廣田 和三	地方交付税について
	住宅資金について
	旧中学校の跡地について
井村 保裕	人口減少について
	食の安心・安全について
	生活排水処理構想について
	普通交付税（生活保護費）の錯誤について
吉見 勝之	小・中学校について
	結婚届について
	ふるさと納税について
	地域の観光について
杉本 勝	日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業について
	ごみ処理施設広域整備の協議について
	財政について
安平 剛之	地方交付税の過大受給について
	公民館の改修について
	空き家対策調査・計画について

地震・津波対策 有効なアクションを

善政クラブ 佐野 善作 議員

答

第6次総合計画の防災・減災対策実現に向けて取り組み



交付税が減額されるが 市民サービスへの影響は

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

答

市民サービスが低下しないよう、財政調整基金等で補てんし、対応する



佐野 建物耐震化の現状と今後の取り組みは。

総務課長 市の公共施設の80%程度が耐震性を有している。残り20%が、公民館等の集会施設と競輪場である。今後、公共施設総合管理計画に基づき適切に対応していく。

佐野 民間住宅の耐震化率を向上させるための取り組みは。

住宅課長 広報こまっしまや新聞に掲載。チラシの配布やケーブルテレビ等で耐震化の必要性を説明していく。県と合同の耐震サポートコンシェルジュで各家庭に訪問し、相談に乗っている。

佐野 家具の固定支援はどこまで進んだのか。

危機管理課長 高齢者のみの世帯や身体障がい者等に固定金具の支給及び取り付け支援を実施している。

佐野 市民全体に対する家具固定の支援制度拡充を行うのは。

危機管理課長 支援制度の拡充は考えていな

い。

佐野 津波避難困難地域解消のために赤石・勢合山に避難場所を作ってはどうか。

危機管理課長 現在、赤石・勢合山には所有者が利用する道が数ヶ所あり、当該地域では避難経路と位置付けられている。



赤石・勢合山

雨水ポンプ場の管理運営は

佐野 ポンプ場の管理・運営はどうなっているのか。

都市整備課長 台風が

接近するなど、大雨が予想される場合には、各施設の管理受託者に連絡をし、待機や事前排水などを行い、浸水対策に努めている。

佐野 1年に1回は管理人の技術向上のために研修会を開いては。

都市整備課長 現在は個別の指導、研修を行っている。合同での研修会について、今後検討する。

政所谷川改修の取り組み

佐野 田野町政所谷川は川幅が狭く、大雨の時には氾濫して、避難所となっている老人憩いの家に行くことができない。また、下流の県道・田野勢合線は通行止めになることが多い。河川改修の取り組みは。

まちづくり推進課長

今年6月、徳島県に本市の特に重要な施策として、早期に治水対策が図られるよう県に要望している。

米崎 生活保護医療扶助及び介護扶助の受給者数が過大報告となった原因について。

生活福祉課長 生活保護システムデータで退院等の廃止決済処理を行わず、報告数値として計上していたため。

米崎 受給者への生活保護費等の過払いは。

生活福祉課長 医療扶助は診療報酬請求により医療機関等へ、介護扶助は介護給付請求により介護機関等へ支払うため、過払いもなく影響もない。

米崎 再発防止にどんな対策を講じたのか、人的ミスカバーするシステムは存在しないのか。

保健福祉部長 生活保護システムの廃止決済処理を確実に行う。医療保険、介護保険の有効期限が切れた受給者については、医療扶助、介護扶助の受給の有無を通院状況等の確認を行い、国へ被保険者調査を報告する。

米崎 交付税が減額される中で、投資的事業がで

きなくなるが市民サービスへの影響はないのか。

財政課長 今後の財政運営については、単年度ごとの収支を勘案しながら、財政調整基金等で補てんしつつ、市民サービスが低下しないよう対応する。

米崎 事務に携わった管理職4人に対し文書訓告、入力業務に携わった各担当者8人に対し嚴重注意を行ったとのことであるが、その対応で市民の理解を得られるのか。

総務部長 各部長に対しチェック体制の徹底を指示し、全職員に対し事務の手順の見直し、再発防止に向けての取り組み、市全体の事務執行体制の引き締めを図り、市民の信頼回復につなげる。

人口減少対策は

米崎 新聞に昨年度の小松島市への移住者が6人という記事が掲載されていた。この結果を踏まえ、

本市の人口減少対策についての考え方は。

秘書政策課長 現在小松島市にお住まいの方に、引き続き住んでいただけるような定住策を推進していくことで、移住者の増加にもつながると考えている。

米崎 人口減少対策として、子育て世代にターゲットを絞り、保育施設の充実を力を入れ、次世代へ市の魅力を発信する考えは。

秘書政策課長 子育て支援策の拡充だけでなく、働く場の確保や定住促進に向けた住環境の整備なども重要と考えるが、小松島市の魅力・特色を創ることについては、その効果や継続性の観点から研究する。



住宅新築資金等の貸付金額と償還金額の推移は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答
3事業の貸付金の総額は564件、19億8270万円
償還率は88・21%



廣田 住宅新築資金貸付制度などで恩恵にあず

かった方がたくさんおられる。制度における貸付金額は、元々いくらあるのか。

人権推進課長 住宅新築資金貸付金が237件で12億1890万円、住宅改修資金貸付金が153件で2億9300万円、宅地取得資金貸付金が174件で4億7080万円である。

廣田 平成27年度末現在で総額19億8270万円が貸し付けられ、17億4894万円が償還されている。未償還金額はいく

らあるのか。

人権推進課長 平成27年度末で110件、未償還金額の合計は2億3376万円である。

廣田 督促状、催告状は、発送しているのか。
人権推進課長 28年度末までに順次発送して、延べ53件ある。

14年ぶりに督促状を発送

廣田 最長で何年ぶりに督促状、催告状を出した方がいるのか。

人権推進課長 最長で14年ぶりに発送した方があ



廣田 14年間督促もせず法的に有効性があるのか。

人権推進課長 法的に有効である。貸付金償還マニュアルに沿って滞納整理に鋭意努める。

廣田 滞納説明と早期に貸付金の解消に努めてもらいたい。

高速道路開通時がチャンス I C 周辺や国道沿いの活性化策は

新風はなみずき 井村 保裕 議員

答
周辺は調整区域で多くの課題がある



井村 少子高齢化が加速している。このまま何も

施策をせず、人口3万人を切るようなことになるか、どうなるのか。

総務部長 労働力の不足、市場縮小による地域産業への影響や、税収減少による行政サービスの低下等の事態が予想される。人口増加へ転じるのが難しいとされる中、市民に不便をかけない、住みやすいまちづくりが大切であると考ええる。

井村 3年後の高速道路開通時をチャンスと捉え、I C（インターチェンジ）周辺や国道沿いで商業施設や住宅が建てら

れるようにするべきではないか。

まちづくり推進課長 周辺は市街化調整区域であり、土地利用にあたっては多くの課題がある。

井村 立江・榑湖地区地域活性化 I C 設置については、市の発展につながるものとして、その実現に向け計画の策定、調査・検討を進めていく。

井村 なぜ、農業振興地域の見直し変更ができないのか。

産業振興課長 事前に計画を変更するものではなく、I C 設置後に周辺が都市化されるなど、情勢が推移した時に判断す

るものである。

井村 今のままでは何も開発されない。市が方針を出すべきではないか。
市長 第6次総合計画でまちづくりを推進していく。人口減少社会において、スリムな行政を行い、安心した生活を送れる仕組みをつくる。

今後の教育体制は

井村 少子化が進む中で、就学前教育体制は万全か。

児童福祉課長 児童人口の推移や保護者の利用ニーズを聞き、適正な施設で、子育て支援策を展開していく。

地方交付税の 錯誤の説明は

廣田 過去5年で8億3462万円の地方交付税の過大受給があり、今後4年間で交付金を毎年2億円余り減額しながら国に返還する措置をとるとのことだが、やはり

これだけの問題については、広報紙に交付税の錯誤についてページを割いても原因や今後の再発防止の取り組みの説明を掲載すべきと考えるが。
生活福祉課長 市民への周知は、市のホームページで公表している。また問い合わせには、丁寧に

説明し対応している。

廣田 ホームページでは、原因も今後の再発防止の取り組みの説明もなかなか出てこない。広報紙で市の説明姿勢を示すことで市民は安心する。

小松島南中学校の 家庭訪問は実施すべきでは

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 教職員、保護者とも 賛否両論がある

吉見 保護者との顔合わせや家庭環境を知るためにも、小松島南中学校の家庭訪問は実施すべきではないか。

学校課長 家庭訪問には家庭環境や保護者の悩みや願い、校区の状況などが把握できるというメリットがあるが、実施に

は教職員、保護者とも賛否両論がある。家庭訪問については学校と保護者が協議の上で判断するよう指導する。

教職員の 勤務実態は

吉見 過労死のリスクが高まる月80時間以上の時



間外労働の教員も相当数いるときくが、教員の長期勤務状態は。

学校課長 教員勤務実態調査では1日、11時間を優に超えている。負担軽減に向け、県へ教員の加配や支援員等の配置による人的支援を行っている。調査提出物について

井村 小学校再編の進捗状況は。

教育政策課長 本市の教育環境は、平成24年の学校再編計画策定時から大きく変化している。有識者会議を立ち上げて総合的に整理検討する。

井村 食物アレルギーを持つ児童生徒が増えている。

はICT機器の活用で業務の効率化を図っている。

通学かばんに リュックサックを 採用しては

吉見 高級なランドセルより京都府の一部などで採用している1万円以下のリュックサックを採用しては。

学校課長 各小学校ではランドセルの指定はしておらず、使用を推奨している学校が多い。ランドセルは教科書等のサイズに合わせた箱型で、教科書等が入れやすいなどの理由で選ばれている。

吉見 他県の一部の公

ると聞くが、学校給食は安全か。

教育政策課長 幼・小・中合わせて対象者が33名いる。マニュアルを策定し、きめ細やかな対応で努めている。

井村 就学前の子どもは更に多いと聞く。食物アレルギーを持つ子どもた

ちが増えると、その分調理師や担当保育士の負担も大きくなってくるが、処遇改善は。
児童福祉課長 必要に応じて、県と国へ要望していく。



リュックサック型 通学かばん

立小学校では、布製のリュックサック型のかばんを通学用を利用しては。小松島市も推奨ではなく、リュックサックに変える努力をしてほしい。

物の活用状況調査では、3カ月平均で本市平均46%、県内平均42%と県内平均を上回っている。米飯、米粉、ちりめん、干し椎茸などは全量が小松島産である。

学校給食で 地産地消の推奨を

吉見 学校給食の地産地消の取り組み状況は。
教育政策課長 地場産



日峯大神子広域公園は どうなるのか

新生クラブ 杉本 勝議員

答
防災拠点と硬式野球
グラウンドに変わる



杉本 日峯大神子広域公園（脇谷地区）の整備事業の進捗状況は。

まちづくり推進課長 建設以来、老朽化している都市公園施設について、スポーツやレクリエーション施設としての再整備が急務となっている。また、切迫する南海トラフ巨大地震の発生時における緊急一時避難場所や防災拠点として、平成28年度から国土交通省所管の交付金を活用し、都市公園事業に取り組んでいる。

杉本 今後の取り組みは。

まちづくり推進課長 災害時の防災拠点施設とし

て整備することから、平時・災害時の両面において求められる機能、役割を有する都市公園として再整備する計画である。

杉本 現在の野球場はどうなるのか。

まちづくり推進課長 昭和28年の公園開設以来、野球活動を行っていることから、現在の軟式野球場の規格から硬式野球場の規格に見直す。スポーツ振興とイベント開催による交流人口の拡大、地域のにぎわい創出、活性化につなげたい。

杉本 地元の要望等に対する取り組みは。

まちづくり推進課長 市民のニーズ、要望、意見

等を把握し、でき得る限り適正に反映することが重要であると認識している。

杉本 テニスコートがなくなるが、今後の対応は。

生涯学習課長 坂野運動広場3面のコートを代替施設として、硬式テニス1面とソフトテニス2面が利用できる状態である。



硬式野球場（アグリあなんスタジアム）

職員の資質向上策は

みらいの会 安平 剛之議員

答
さらなる資質向上に
取り組む



安平 交付税の過大受給はなぜ起こったのか。

財政課長 交付税の基礎となる生活保護費の医療扶助及び介護扶助の受給者数を国へ過大報告していたことで起きた。

安平 財政課から原課に対して交付税についての講習会をしてはどうか。

総務部長 実施の方向で方法を検討する。

安平 今定例会議では職員の資質向上をメニューテーマに質問を行ったが、市長の感想は。

の高い行政サービスの提供に必要不可欠なものと認識している。今後とも職員の資質向上に向け、積極的に取り組んでいく。

安平 当初予算で研修費は200万円しかない。職員の資質向上は投資である。ゼロを1つ増やす気持ちはないか。

市長 一概に予算を多く計上したから資質が向上するということとは、あり得ないと思う。

安平 お金を使わず、資質の向上を図るには、どんな方法があるのか。研修会等に参加して、新しい知識を得ていたら今回のようなミスは犯さな

かったのではないのか。知識を得ることも資質の向上、やる気を起こさせるのも資質の向上だと思

う。職員のやる気を起こさせるため、法務検定を受検させ、合格した人には手当を出すなどの考えは。



職員研修会

議会広報の研修会を開催

6月26日（月）、徳島新聞社 編集局 NIE 推進室 井上雅史 室長を講師に迎え、議会広報の研修会を開催した。

議会広報特別委員会では、「親しまれる議会だよりを目指して」を年間テーマとして取り組むこととしており、研修会では読みやすいレイアウトや見出し、構成など、読み手の立場に立った紙面づくりについて学んだ。



研修を受ける編集委員ら

視察来市（平成29年4月）

来市先議会	月日	視察内容
栃木県 小山市議会	4/17	・タブレット端末の導入について
長野県 伊那市議会	4/25	・事務事業評価について

小松島市議会では、他市議会からの視察を受け入れています。

前号(113号)クイズの答え

① 赤石地区

(前回問題)

写真は「ガントリークレーン」と呼ばれるものです。徳島小松島港内の内、何地区に設置されているでしょうか。

- ① 赤石地区 ② 金磯地区
③ 本港地区



ごみ処理施設広域整備の取り組みは

杉本 現在の進捗状況は。

市民生活課長 昨年11月に6市町の首長協議により、徳島市飯谷町枇杷ノ久保を最有力候補地として選定、合意した。本

年3月30日には、一般廃棄物中間処理施設の整備と管理運営に関する事務の基本的事項を定めた協定書を関係市町と締結した。また、去る5月26日、市ミリカホールにおいて、広域整備の協議経過や本市ごみ処理施設の現状課題などを中心に市

民説明会を開催した。

杉本 今後、隣接地域で市民説明会を行うのか。

市民生活課長 徳島市での開催状況や関係町と連携協議を図り、隣接地を中心とした説明会を予定している。

副市長

資質の向上には、個々のもとの能力がある。研修のやり方は様々な方法があり、費用の増額だけではない。また、法務検定の受検であるが、小松島市役所は徳島県内でも受検者数が多いことで評価されて

いる。このことを踏まえ、職員自らがアンテナを張って情報収集に努めることで結果的に資質向上ができるのではないかと考えており、給料を上げるというのは無理がある。

安平 市長が職員の意識改革のために研修費も

増やし、「さあやるのだ」という姿勢を見せることで、職員はやる気になっていくのではないかと。職員が資質の向上を目指し頑張ることが市民のため、市民のより良い生活に役立つ小松島市になればと考えている。

議員の賛否表（平成 29 年 6 月定例会議）

議案等		議員名（議席番号順）															
		松 下 大 生	四 宮 祐 司	高 木 幸 次	米 崎 賢 治	池 淵 彰	片 田 真 弓	杉 本 勝	前 川 英 貴	廣 田 和 三	井 村 保 裕	吉 見 勝 之	武 田 清	出 口 憲 二 郎	安 平 剛 之	佐 野 善 作	宮 崎 欽 司
第42号	平成29年度小松島市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号	小松島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第44号	小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	小松島市消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	小松島市工場立地法地域準則条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	徳島市との間における事務の委託に関する協議について	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	監査委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号 ～第70号	農業委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 第1号※	広域ごみ焼却施設建設事業における議会と市民の市政参画に関する請願について	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 第1号※	国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（北野恒男）は、採決には加わりません。
※ 請願第1号及び陳情第1号については、委員長報告（不採択）に対する賛否。



先進地である愛知県日進市議会において、議員報酬等の減額について、調査・研究した。

平成28年3月定例会議において改定された、議会基本条例第21条（議会モニター設置）、第22条（議会アドバイザー設置）についての要綱を協議し、その素案を作成した。
また、「議員が議会を長期欠席した場合でも、議員報酬を受け取るのはおかしい」との市民からの声をうけ、長期欠席等における議員報酬の減額について協議し、「議員報酬等の特例に関する条例の制定について」（案）を取りまとめた。

議会モニター、アドバイザー設置の要綱（案）及び、議員報酬の特例条例の素案を作成

安平 剛之 委員長

議会改革特別委員会報告

平成28年度政務活動費収支一覧表

平成28年度は交付総額4,080,000円に対し、執行額942,157円、執行率は23.1%でした。
利息を含む3,137,884円が市に返納されています。

単位 (円)

会 派 名	新生クラブ	やまもも クラブ	新 風 はなみずき	みらい政策 クラブ	日本共産党	公明党	創明会	創生クラブ	大互クラブ	合 計
所属議員名	出口 憲二郎 武田 清 杉本 勝 前川 英貴	宮崎 欽司 北野 恒男 吉見 勝之	井村 保裕 廣田 和三 米崎 賢治	佐野 善作 安平 剛之	片田 真弓	四宮 祐司	池淵 彰	松下 大生	高木 幸次	
交付額	960,000	720,000	720,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	4,080,000
利 息	9	9	6	3	2	3	3	3	3	41
研究研修費	0	0	0	110,972	0	0	0	0	0	110,972
調査旅費	7,500	0	48,340	0	0	0	0	0	0	55,840
資料作成費	23,431	21,656	24,246	0	0	0	0	0	0	69,333
資料購入費	9,480	7,110	7,110	99,066	2,370	2,370	2,370	0	2,370	132,246
広報費	0	0	0	0	36,000	0	0	0	0	36,000
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の経費	148,712	108,954	104,034	55,356	32,677	32,677	0	27,678	27,678	537,766
支出総額	189,123	137,720	183,730	265,394	71,047	35,047	2,370	27,678	30,048	942,157
残額 (返納額) ※利息含む	770,886	582,289	536,276	214,609	168,955	204,956	237,633	212,325	209,955	3,137,884

政務活動費について

◎政務活動費とは

小松島市議会議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

◎交付額及び交付の方法

当該年度の4月1日における当該会派の所属議員数に年額240,000円を乗じて得た額を当該会派に交付します。

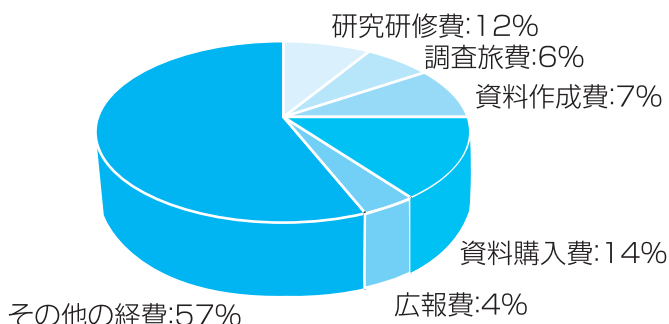
◎収支報告書の提出義務

全ての支出に対して、支出を証明する証拠書類である領収書等の写しを添付することとし、その透明性の確保に努めています。

◎政務活動費に残額がある場合

残金がある場合には、その政務活動費の残金は全額、市に対して返還しております。

支出項目別グラフ



大募集!!

「議会だより」表紙写真



1. テーマ 議会だより表紙にふさわしい、とっておきのひとコマ
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学の方
3. 応募方法 応募用紙に必要事項をご記入の上、写真(A4サイズ)を添え、市役所2階、議会事務局までご提出ください。
4. 応募規定 応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
5. 応募締切 10月10日(火) 必着(11月5日発行号)
6. 応募先 〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
7. 問合せ先 小松島市議会事務局 ☎ 32-1359

小松島市議会について、子どもたち向けに解説します。

市議会って なあに？



Q. 小松島市議会ってなにをやる場所？

A. 小松島市に住んでいる人の中から選ばれた代表者（議員）が、みなさんのくらしを良くするために必要なことを市長と話し合いながら決める場所です。

Q. 話し合いはどのようにしているの？

A. 話し合いは**本会議**や**委員会**で行われています。

議員が全員集まって話し合いをすることを**本会議**といいます。

また、議員がグループに分かれて、詳しく話し合いをすることを**委員会**といいます。

Q. 市議会の仕事は？

A. 市議会にはたくさんの仕事があります。主なものは次の5つです。

- ① 市の決まり(条例といいます)を決めます。
- ② 市長の考えた市の仕事をするために必要なお金の使い方(予算といいます)について決めます。また、そのお金が正しく使われたかどうか(決算といいます)を調べます。
- ③ 市の仕事が市民のために行われているかどうかを調べます。
- ④ 国や徳島県に対して、こうして欲しいという意見を出します。
- ⑤ 副市長・教育長など大切な役職につく人を市長が決めるとき賛成か、反対かを決めます。
(同意といいます)

Q. わたしたち市民からのお願い（意見）は？

A. 市の仕事について、ぜひ、こうしてもらいたいと思うことや、国や県にぜひ、こうしてもらいたいと思うことがあるときは、市議会にお願いすることができます。これを、**請願・陳情**(せいがん・ちんじょう)といいます。

議員は、提出された請願・陳情について、議員同士で話し合い、その結果認められたもの(採択といいます)は市の仕事に生かされたり、国や徳島県にこうして欲しいという意見を出します。



小松島市議会では5月1日から翌年4月30日までを会期とする通年会期制(つうねんかいぎせい)をとっています。

年4回(6月、9月、12月、3月)開かれる会議(定例会議といいます)と、急いで決めなくてはいけないことがあるときに開かれる会議(臨時会議といいます)があります。

定例会議の進め方



本会議

全員が集まって会議を行うこと

1. 開議(開会) —— 定例会議を始めます。
2. 議案の説明 —— みなさんの暮らしを良くするために必要なこと(議案といいます)を市長が市議会に説明します。
3. 質疑・一般質問 —— 議員は議案について、より理解するために分からないことを聞いたり(これを質疑といいます)、市の仕事全般について市長に聞いたり提案したり(これを一般質問といいます)します。
4. 答 弁 —— 市長は聞かれたことに対し、わかるように説明します。



委員会

常任委員会に付託(ふたく)

議案を4つのグループ(委員会といいます)にあずけます。(あずけることを付託といいます)あずけられた議案は、それぞれの委員会(3ページ参照)で話し合います。

5. 委員長報告 —— 委員会で話し合ったことを委員長が報告します。
6. 質 疑 —— 報告内容について、委員長に質疑をします。
7. 討 論 —— この議案に賛成か、反対かを言います。
8. 採 決 —— この議案に賛成か、反対かを決定します。(議決といいます)
9. 散会(閉会) —— 定例会議を終了します。
(さんかい)

これからも
小松島市民のために
がんばります。



平成29年9月 定例会議 日程

全ての会議、委員会で傍聴できます。

月日	曜	開議時刻	議 事	月日	曜	開議時刻	議 事
9月5日	火	午前10時	開 会（議案提出）	9月15日	金	午前10時	予算決算常任委員会
9月7日	木	午前10時	質 疑・一般質問	9月19日	火	午前10時	予算決算常任委員会
9月8日	金	午前10時	質 疑・一般質問	9月20日	水	午前10時	予算決算常任委員会
9月11日	月	午前10時	質 疑・一般質問	9月21日	木	午前10時	予算決算常任委員会
9月12日	火	午前10時	総務常任委員会	9月26日	火	午前10時	予算決算常任委員会
9月13日	水	午前10時	文教厚生常任委員会	9月27日	水	午前10時	予算決算常任委員会
9月14日	木	午前10時	産業建設常任委員会	9月29日	金	午前10時	議 決・散 会

ふれあい市議会コンサート

6月13日、定例会議の一般質問初日のお昼休みに、本会議場においてふれあい市議会コンサートが開催されました。小松島市活性化のために活動されている音楽グループ、マークIIのお二人による、地元小松島にちなんだオリジナル曲が演奏され、お昼のひとときを楽しみました。



市議会では、9月・12月・3月・6月の各定例会議における出演者を募集しています。出演のお問い合わせは、小松島市議会事務局 ☎ 32-1359 まで

発行／小松島市議会 議長 北野恒男

第2回 小松島市議会タウンミーティング開催

参加者募集

市議会が皆さんの生の声をお聴きする機会として、また、皆さんも様々な意見に触れる機会として、ぜひ参加してみませんか。

- ▼日 時 8月19日（土）午後1時15分～午後4時00分
- ▼場 所 市総合福祉センター2階大会議室
- ▼テ ー マ 「議員定数と議員報酬」
- ▼募集対象者 小松島市民（会場の都合上10名とさせていただきます）
- ▼応募方法 ハガキに住所・氏名・年齢・性別・日中連絡のとれる電話番号及び「タウンミーティング参加希望」と記載し、お申込みください。
- ▼応募締切 8月8日（火）必着
- ▼選考・通知 抽選の上、決定通知を送付いたします。
- ▼応募・問い合わせ先 小松島市議会事務局
〒773-8501 小松島市横須町一番一号（TEL32-1359 / FAX32-6611）



編集／議会広報特別委員会 委員長 吉見勝之

広 報 委 員

委員長 吉見勝之
副委員長 米崎賢治
委員 安平剛之
委員 杉本勝
委員 片田真弓
委員 廣田和司
委員 四宮祐三
委員 松下大生

編集後記
盛夏の候、市民の皆様いかがお過ごしでしょうか。この5月より1年ぶりに広報委員に復帰しました。広報委員会では、「親指して」を年間テーマとし、今回は小松島市議会について、子どもたち向けに解説した「市議会ってなあに」を特集ページとして掲載しております。この議会だよりを通じて、皆様に議会に興味を持ってもらえるような紙面づくりに取り組んでまいります。

副委員長 米崎賢治